

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	新岡 陽光	所属	法政大学大学院人文科学研究科																
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会公正研究会																		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <table border="0"> <tr> <td>1日目</td> <td>会員</td> <td>9名 (うち認定心理士</td> <td>1名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非会員</td> <td>2名 (うち認定心理士</td> <td>0名)</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>会員</td> <td>5名 (うち認定心理士</td> <td>1名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非会員</td> <td>2名 (うち認定心理士</td> <td>0名)</td> </tr> </table> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>【実施内容の概要・成果】</p> <p>今年度の研究会では、ヒトの公正感、正義感といった社会的本性がどのように獲得されていくのかという点について検討するために、「発達早期の道徳・向社会的性」について、外部講師を招き検討した。また、刑事司法手続や怒り・攻撃感情についての検討も行った。</p> <p>●1日目は、2018年2月10日(土)に、大阪大学吹田キャンパスにて、NTTコミュニケーション科学基礎研究所(日本学術振興会 PD)の鹿子木康弘講師を招き、「発達早期の道徳・向社会的性：我々は生まれながらに正しく、やさしいのか?」というタイトルで発表が行われた。ヒトがなぜ弱者を救いたいと思うのか、なぜ正義の味方に熱狂するのかという問いからスタートし、ヒトの心の本性・本質についての近年の発達科学における知見を中心に議論を行った。そして、鹿子木講師の行った研究成果をもとに、前言語期における弱者への原初的な同情心についてどのように研究していくべきか、および、前言語期に正義感を肯定するような弱者への救済を志向する態度がすでに備わっている可能性について議論を行った。また、前言語期に備わっているようなそのような社会性とより年長の子どもや成人の社会性との差異、ヒトではない霊長類との差異についても併せて議論を行った。</p> <p>●2日目は、2018年2月11日(日)に、大阪大学豊中キャンパスにて、昨年度の研究会で講師として招いた大阪大学大学院基礎工学研究科の高橋英之講師に、知能ロボット学研究室の研究成果の一部を解説いただき、議論を行った。昨年度に引き続き、ロボットに正義を実装することができるのか、また、ロボットがヒトの態度や思考に影響を及ぼすことは可能なのか等、さまざまな視点から議論を行った。併せて、大学院生・学部生により、Dark Triad が怒り感情・攻撃性および顕在的攻撃傾向に及ぼす影響、日本の戦前における虚偽検出機の紹介と研究についての発表および議論を行った。</p> <p>【将来計画】</p> <p>●本研究会では、これまでに公正や正義について、刑事事件といった社会的テーマを中心に活動を展開してきた。昨年度と本年度は視点を変えて、ヒトに備わっている公正や正義を人工知能への実装や前言語期の幼児の心性に焦点を当てることで、より深く検討することができた。次年度は、研究会のホームページを立ち上げ、学際融合的知として公正や正義の機能的側面を、様々な分野の研究者とともにより詳細に検討していきたい。</p>			1日目	会員	9名 (うち認定心理士	1名)		非会員	2名 (うち認定心理士	0名)	2日目	会員	5名 (うち認定心理士	1名)		非会員	2名 (うち認定心理士	0名)
1日目	会員	9名 (うち認定心理士	1名)																
	非会員	2名 (うち認定心理士	0名)																
2日目	会員	5名 (うち認定心理士	1名)																
	非会員	2名 (うち認定心理士	0名)																

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公正研究会 (1日目)				
研究集会開催日： 2018年2月10日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	新岡 陽光	法政大学大学院人文科学研究科	○	
2	鹿子木 康弘	NTTコミュニケーション科学基礎研究所	○	
3	綿村 英一郎	大阪大学人間科学研究科/人間科学部	○	
4	川嶋 伸佳	京都文教大学総合社会学部	○	
5	板山 昂	関西国際大学人間科学部	○	○
6	中田 友貴	立命館大学大学院文学研究科	○	
7	高橋 英之	大阪大学大学院基礎工学研究科		
8	清水 計法	大阪大学大学院人間科学研究科	○	
9	大高 実奈	東洋大学大学院社会学研究科	○	
10	黒川 優美子	神戸学院大学大学院人間文化学研究科	○	
11	太田 舞	関西国際大学人間科学部		
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
公正研究会 (2日目)				
研究集会開催日： 2018年2月11日(日)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	新岡 陽光	法政大学大学院人文科学研究科	○	
2	板山 昂	関西国際大学人間科学部	○	○
3	中田 友貴	立命館大学大学院文学研究科	○	
4	高橋 英之	大阪大学大学院基礎工学研究科		
5	大高 実奈	東洋大学大学院社会学研究科	○	
6	黒川 優美子	神戸学院大学大学院人間文化学研究科	○	
7	太田 舞	関西国際大学人間科学部		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(様式5)

2018年 3月 27日

日本心理学会研究会 2017年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会公正研究会

研究会番号 研17028

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2018.3.27	JUST SYSTEMS ホームページビルダー21	¥24,480
2018.3.27	返金(日本心理学会)	¥5,520

修正

支出合計 ¥30,000